

詩篇113篇

《ほめたたえよ》

- 1 ハレルヤ。主のしもべたちよ。ほめたたえよ。主の御名をほめたたえよ。
- 2 今よりとこしえまで、主の御名はほめられよ。
- 3 日の上る所から沈む所まで、主の御名がほめたたえられるように。

《高きから低きへ》

- 4 主はすべての国々の上に高くいまし、その栄光は天の上にある。
- 5 だれが、われらの神、主のようであろうか。主は高い御位に座し、
- 6 身を低くして天と地をご覧になる。

《神の謙卑の实例》

- 7 主は、弱い者をちりから起こし、貧しい人をあくたから引き上げ、
- 8 彼らを、君主たちとともに、御民の君主たちとともに、王座に着かせられる。
- 9 主は子を産まない女を、子をもって喜ぶ母として家に住ませる。

ハレルヤ。

本篇も「ハレルヤ詩篇」(111～118 篇)らしく、冒頭から「ハレルヤ」で始まります。前回のショートメッセージで説明させていただきましたように、114 篇にだけは「ハレルヤ」が入っていないという問題がありますが、一説として 113 篇最後に出てくる「ハレルヤ」は 114 篇の頭に付くべきではないかとも言われています。

113 篇全体に流れているテーマは「社会的弱者を引き上げ給う主」であり、その内容が特に色濃く出ているのは 7～9 節です。「弱い者」「貧しい人」「子を産まない女」という表現が特徴的です(後述)。これらの言葉はイスラエル社会における弱者を指しているのかもしれませんが、捕囚によって苦しめられてきた民を象徴的に表しているとも考えられます。もし後者であるならば、本篇が書かれた時期は捕囚後ということになるでしょう。

1～3 節では、「ほめたたえる」という表現が 4 回も繰り返されており、更に誉め讃えるべき対象は「主の御名」と言われています。名前は主なる神様の人格またはご自身を表し、「わたしは(共に)いる」(出 3:14)と仰せになった「モーセの神」「アブラハム、イサク、ヤコブの神」「ダビデの神」を力強く表現しています。本篇の読者が賛美へと招かれている理由は、この方がどんなときにも私たちと共にいてくださるからです。「日の上る所から沈む所まで」とあるように、ここでは地球規模における賛美が想定されていて、イスラエルに限定されるものではありません。

4～6節では、「高き」と「低き」の著しいコントラストが見られます。まず主の至高性が「**主はすべての国々の上に高くいまし**」「**その栄光は天の上にある**」「**主は高い御位に座し**」と謳われ、この神に並ぶ者はないことが宣言されます。I列王8:27では、ソロモンが「天も、天の天も、お入れすることはできない」と見事に主の超越性を表現しています。

ところが、この全世界の統治者がまことに身を低くして「**天と地をご覧になる**」というのです。理神論では、神は天地を創造されたがあとは放置しておられると考えます。しかし、聖書の詩人たちはそのようには考えておらず、神はご自分が創造された世界をこよなく愛し、摂理によって統治し続けておられると繰り返します。世がどんなに悪く見えようとも、万物を治めておられる神が存在するということは、信仰の目をもってしか見出すことができないでしょう。

では、神は地のどの辺までご覧になっているか。7～9節では「社会的弱者」がいくつかの側面から取り上げられていて、日々食べるものにも窮するような人々だけでなく、当時社会的に尊重されなかった不妊の女性も登場してきます。「**家に住ませる**」という表現は、古代オリエントにおいて離縁される可能性のあったこの女性たちに、大きな喜びを与えるものでした。それと同時に、この表現はまるで見捨てられたかのような荒廃したエルサレムを指しているのかもしれませんが。神は罪に染まったユダ王国に審きを下されたが、その栄光を取り戻してくださった。そして、「**君主たちとともに**」再び高い名誉と地位にあずからせてくださったと。

以上が113篇の内容でした。ここで語られていることが私たちキリスト者に対してどのように適用されてくるかを最後に考えましょう。最も高いところにおられた方が最も低いところまで降られた。これはまさしく主イエスの受肉において表されました。家畜小屋で誕生し、遊女・取税人・罪人の友となり、十字架において永遠の友となってくくださった。病人に寄り添い、わずか二レプタをささげたやもめの信仰をも見逃すことはありませんでした。至高の神が地の最も低いところにまで目を留めておられるということが、主イエスの公生涯全体を通して証しされたのです。私たちもまた弱い庶民であり、社会の荒波に揉まれ、その中で懸命に生きている者たちです。このような私たちを愛し、如何なる状況下にあっても賛美へと導いてくださる主イエスに、心からの「ハレルヤ」をささげたいと思います。